

図面の様式

Drawing Formats

主 管：開発技術企画部
設 計 情 報 G
制 定：1969年5月24日
最終改：2013年3月15日

1. 制定の目的

製品図に用いる図面の大きさ及び様式を統一することにより、製図、複写、発行、保管などの業務の円滑化を図る目的で規定する。

2. 適用範囲

この規格は、製品図に用いる図面の大きさ、様式及び様式記入事項の書き方について適用する。

備考：この規格は、製品図のみでなく粗材図、その他の図面に用いてもよい。

3. 図面の大きさ

仕上り図面の大きさは、表1による。

表1 図面の大きさ

単位 mm

図 判	コード	大きさ	図 判	コード	大きさ
A 3	3	297×420	A 0	0	841×1189
A 2	2	420×594	特	R 0	841×
A 1	1	594×841		R 4 (³)	1067(42")×
A 1 - A (¹)	6	594×1051		R 6 (³)	1219(48")×
A 1 - B (¹)	7	594×1261			
A 1 - C (¹)	8	594×1471			

注 (¹) A1-A, A1-B, 及びA1-Cは、A1を長手方向にそれぞれ210, 420, 630mm延長したものであるが、今後の新規図面の際は、使用しないこと。

注 (²) ただし、最終フレーム長さは、補助図面番号欄の押印スペース (230mm) が確保されていること (図8-2)。又、大きさは、短辺841mm/長辺5000mmまでとする。

注 (³) R4, R6は、CGSのみとする。現在は使用していない。

4. 様式

製図用紙の様式は、次による。また、手書きなどで様式を作成する場合や承認図でスペースを確保する場合も原則としてこの規定による。

4.1 標題欄

標題欄の様式は、図面サイズにあわせて図1及び表2に従い作成する。

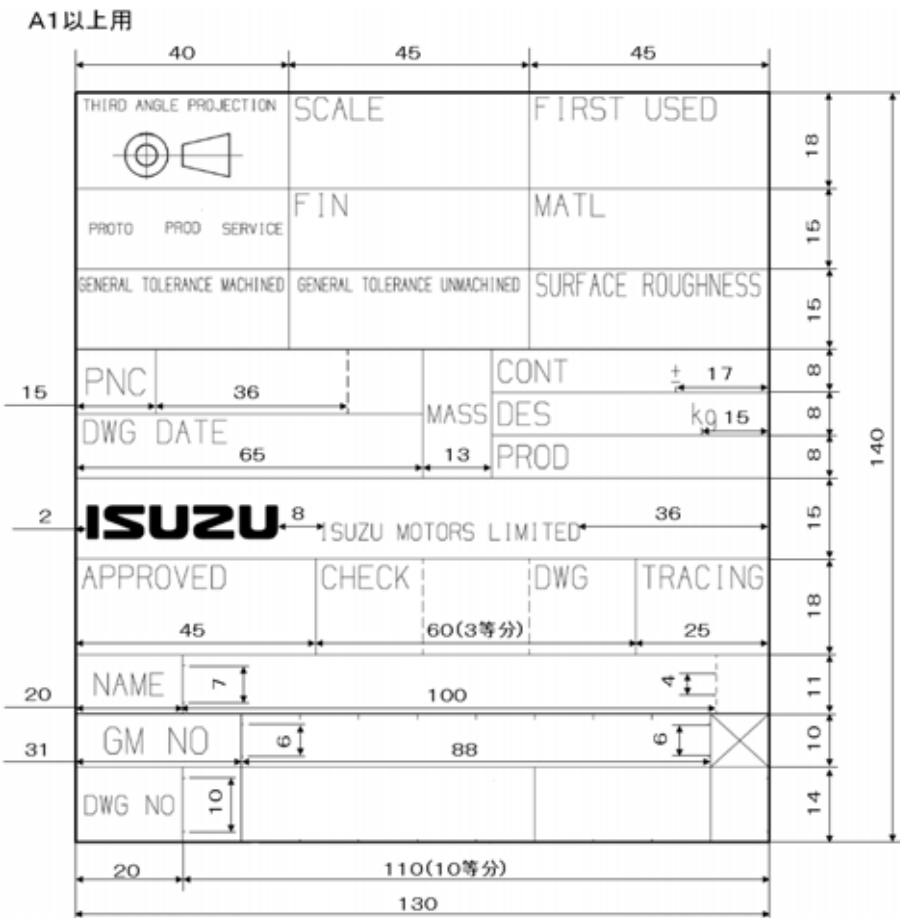
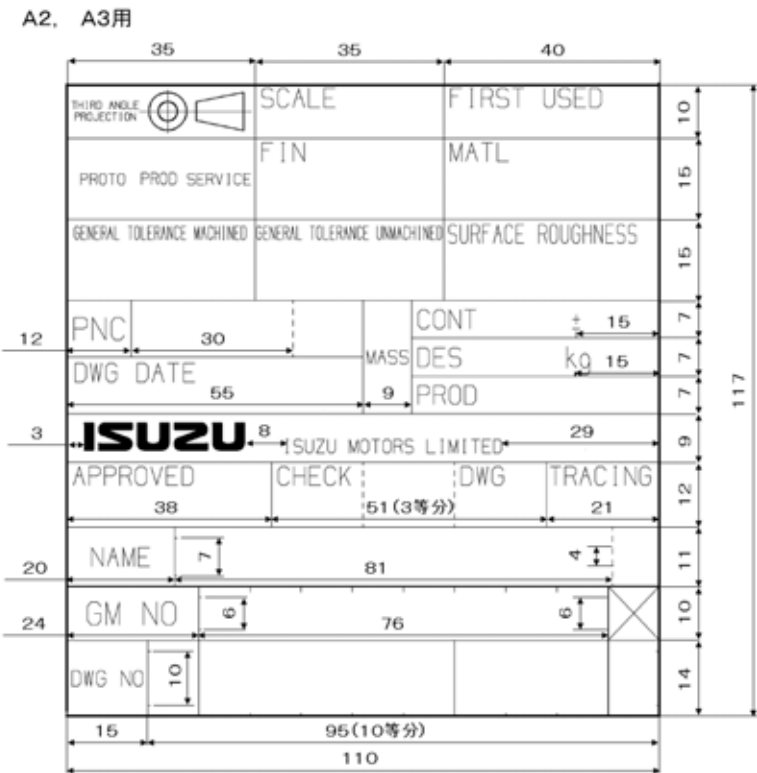


図1 標題欄

表2 標題欄

線の太さ(mm)		文字の大きさ (ポイント) (4)		字 体
太い線	0.5	項目／図判	A2・A3 用	漢 字 片仮名
細い線	0.2		A1以上用	写研中ゴシック (角)
		量・試・サ・三角法	12	18
		その他の漢字	10	14
		PNC, GM NO	14	14
				英文字
				ユニバース65, デミホールド ただし, MASS・CONT・DES・PROD・ DWG NO及びA2・A3 用のSCALE・NAMEはユニバ ース57

注(4) 1ポイントは, JIS Z 8305(1962)「活字の基準寸法」による。

ただし, いすゞマーク・社名文字の大きさ及び社名の字体は, ISA-A-003Y「コーポレートシンボル設計規定」に従うこと。

コーポレートシンボル及び社名文字

A2・A3用



A1以上用



図2 コーポレートシンボル

表3 コーポレートシンボル及び社名文字の大きさ

単位 mm

項目／図判	A2・A3用	A1以上用
コーポレートシンボル	30	36
ISUZU MOTORS LIMITED	40	48

4.2 図面経歴欄

図面経歴欄の様式は、図3及び表4による。

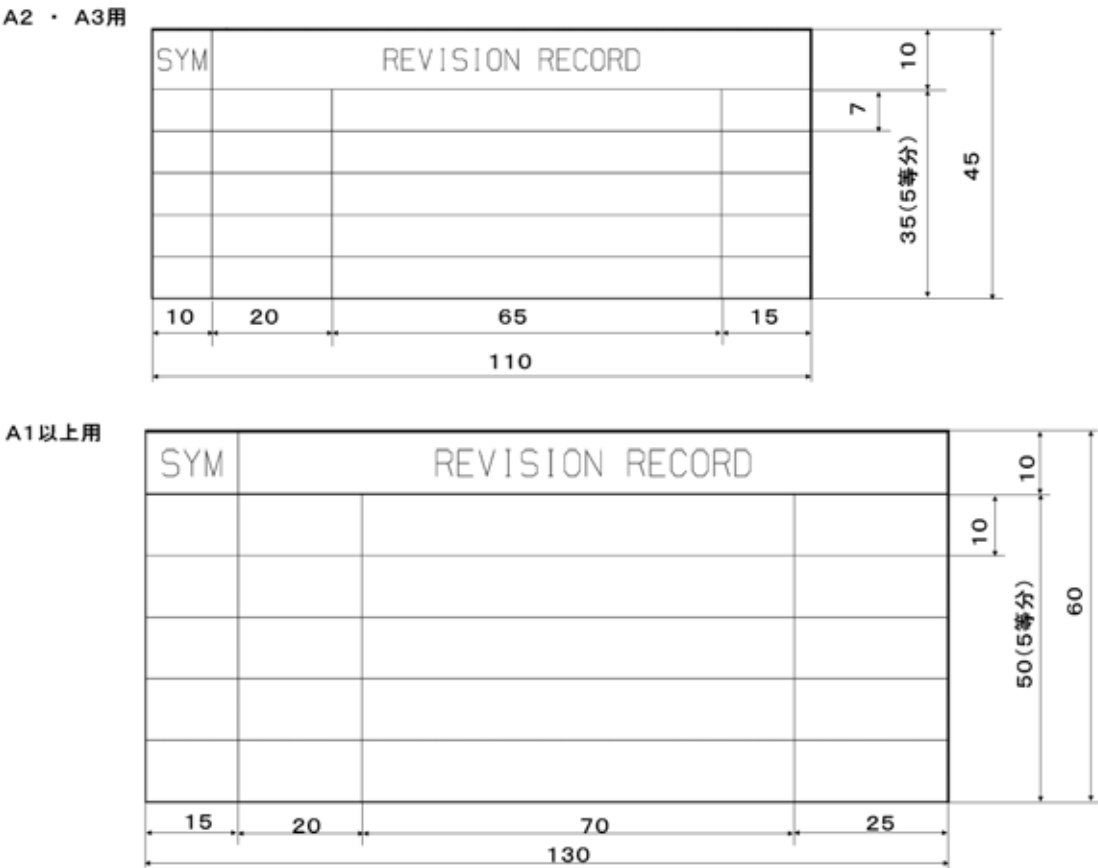


図3 図面経歴欄

表4 図面経歴欄の線の太さ、文字の大きさ及び字体

線の太さ(mm)

太い線	0.5
細い線	0.2

文字の大きさ (ポイント)

種類／図判	A 2・A 3 用	A 1 以上 用
漢 字	1 0	1 4
英文字	1 0	1 2

字体

漢 字	写研中ゴシック (角)
英文字	ユニバース 6 5

4.3 補助図面番号欄

補助図面番号欄の様式は、図4による。

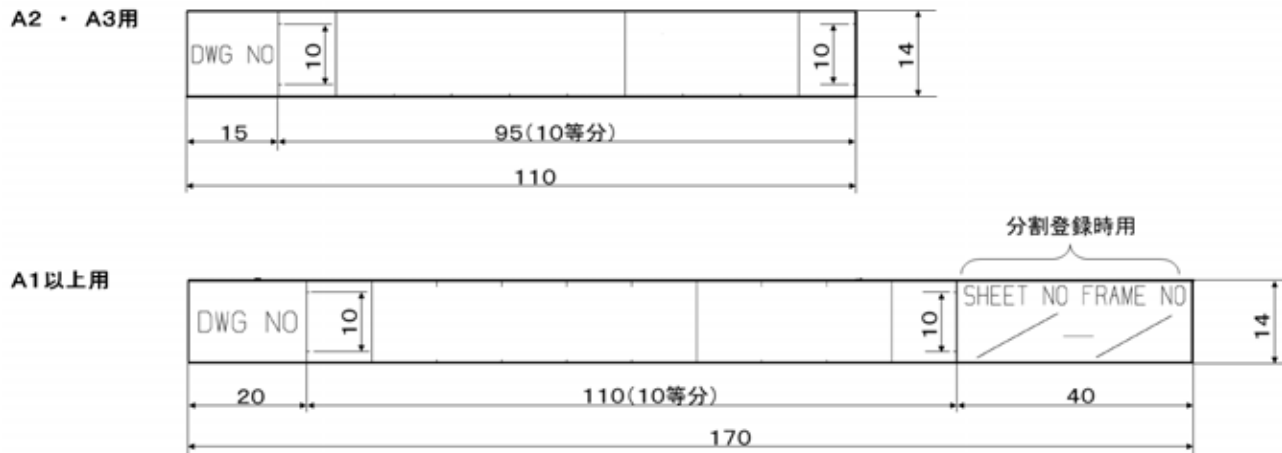


図4 補助図面番号欄

4.4 旧部品情報欄

旧部品情報欄（BASE PART INFORMATION）の様式は、図5によるものとし、その位置は原則として、標題欄の左隅とする。

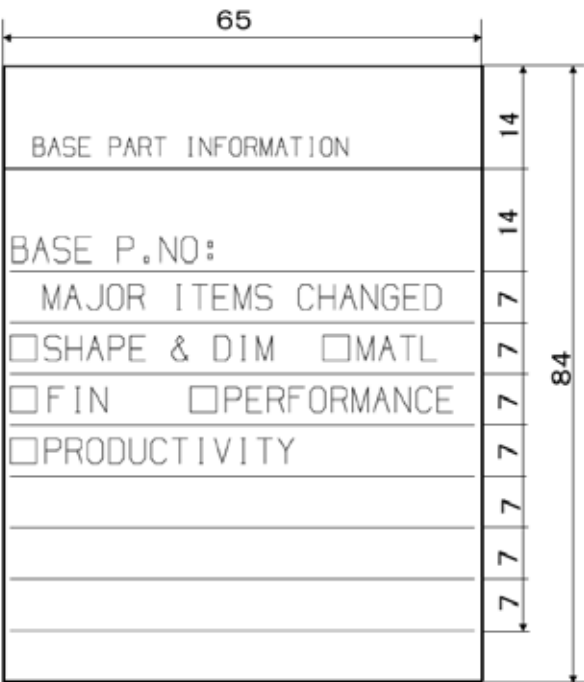


図5 旧部品情報欄

4.5 CADロックマーク欄

- (1) 図面のサイズに共通に、縦35mm×横60mmを標準とする。所定の場所に表示できない場合は、
 標題欄の近くとする。
- (2) 様式及び詳細寸法は、27-V-03-細01CAD図面／図形データ管理細則による。
- (3) 図枠（**図8-1**、**図8-2** 各⑤）のロックマーク欄は、CCD/CATIA/Native NXの図面のみに設定されているもので、現在は、使われていない。

4.6 ゾーニング

A2以上の図面は、原則として次のようにゾーニングする。

- (1) 分類表は、**表5** による。

表5 分類表

単位 mm

方向/図判	A 2	A 1	A 1 - A ^(δ)	A 1 - B ^(δ)	A 1 - C ^(δ)	A 0	特 (R 0, R 4, R 6)
長手方向	6	8	1 0	1 2	1 4	1 1	約 1 5 0 mm 間隔で分割する。
縦方向	4	6	6	6	6	8	

注^(δ) A 1 - A, A 1 - B, 及び A 1 - C は、今後の新規図面の際には使用しないこと。

- (2) ゾーニング方法は、図面の輪郭線上の分割点から外側余白に向かって長さ5mm、太さ約0.8 mmの分割線を輪郭線に直角に印刷し、分割された中央部に、左側余白・右側余白には下からA,B,C.....を、上側余白・下側余白には右から1,2,3...を12ポイントの大きさに印刷する。

4.7 ターゲットマーク記号

- (1) ターゲットマーク

図面のマイクロ化、マイクロフィルムから図面複製などのための合せ記号で**図6**による。

(2012年4月以降の出図から使用しない)

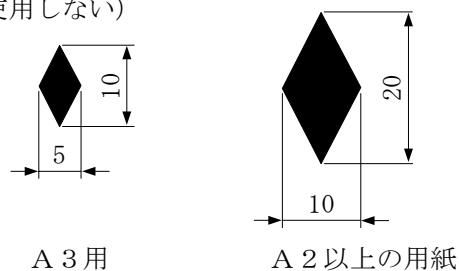


図6 ターゲットマーク

- (2) ターゲットマークの位置

- (i) A3,A2,A1,A1-A及びA0については、製図用紙の縦の中心・横の中心の輪郭線外に記す。（**図8-1**）
- (ii) A1-A,A1-B,A1-C,R0,R4及びR6については、製図用紙の縦の中心及び各フレームの横の中心の輪郭線外に記す。（**図8-2**）

4.8 マッチマーク記号

- (1) マッチマークは、特図判(R0)を横方向に分割するときの便宜のために設ける。記号は、**図7**による。



図7 マッチマーク

(2) マッチマークの位置は、輪郭線内に記す。(図8-2)

4.9 図判の表示

下側輪郭線外右隅（標題欄の下）に、12ポイントの大きさで、図判をA3, A2, A1, A0, R0のように表示する。
又、TIFF図出図の際、図面の右下の枠外にサイズを記載する。

4.10 比較目盛

比較目盛は、図面を縮小・拡大した場合、その程度を知るための目盛⁽⁶⁾を指す。標題欄の輪郭線外右側下隅及びフレームの左下隅輪郭線外に目盛を入れる。(図8.1と図8.2)

注⁽⁶⁾ 目盛は、JIS Z 8311(1998)「製図-製図用紙のサイズ及び図面の様式」による。

4.11 輪郭線の太さ

輪郭線の太さは、1mmとする。

4.12 輪郭線、各欄、ゾーニング及びターゲットマークなど記号の配置

各配置場所は、図8-1 及び図8-2 による。

- ① 標題欄
- ② 図面経歴欄
- ③ 補助図面番号欄
- ④ 旧部品番号欄
- ⑤ CADロックマーク欄(縦35mm×横60mm)図判共通
- ⑥ 比較目盛

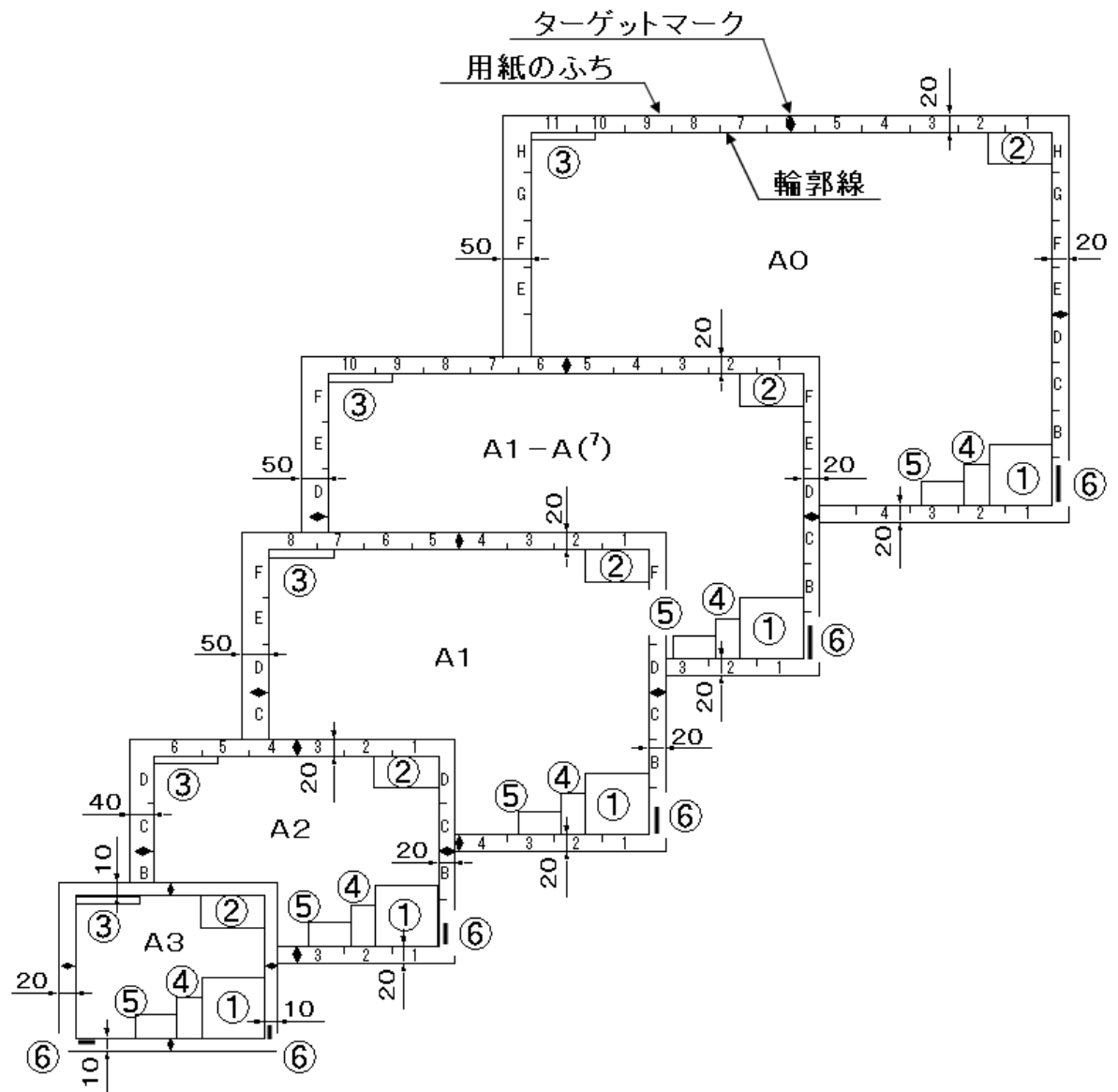


図8-1 輪郭線、各欄、ゾーニング及びターゲットマークなど記号の配置

注(7) A1-A, A1-B及びA1-C は、今後の新規図面の際は使用しないこと。



その他記入事項は、5章の様式の記入事項の書き方による。

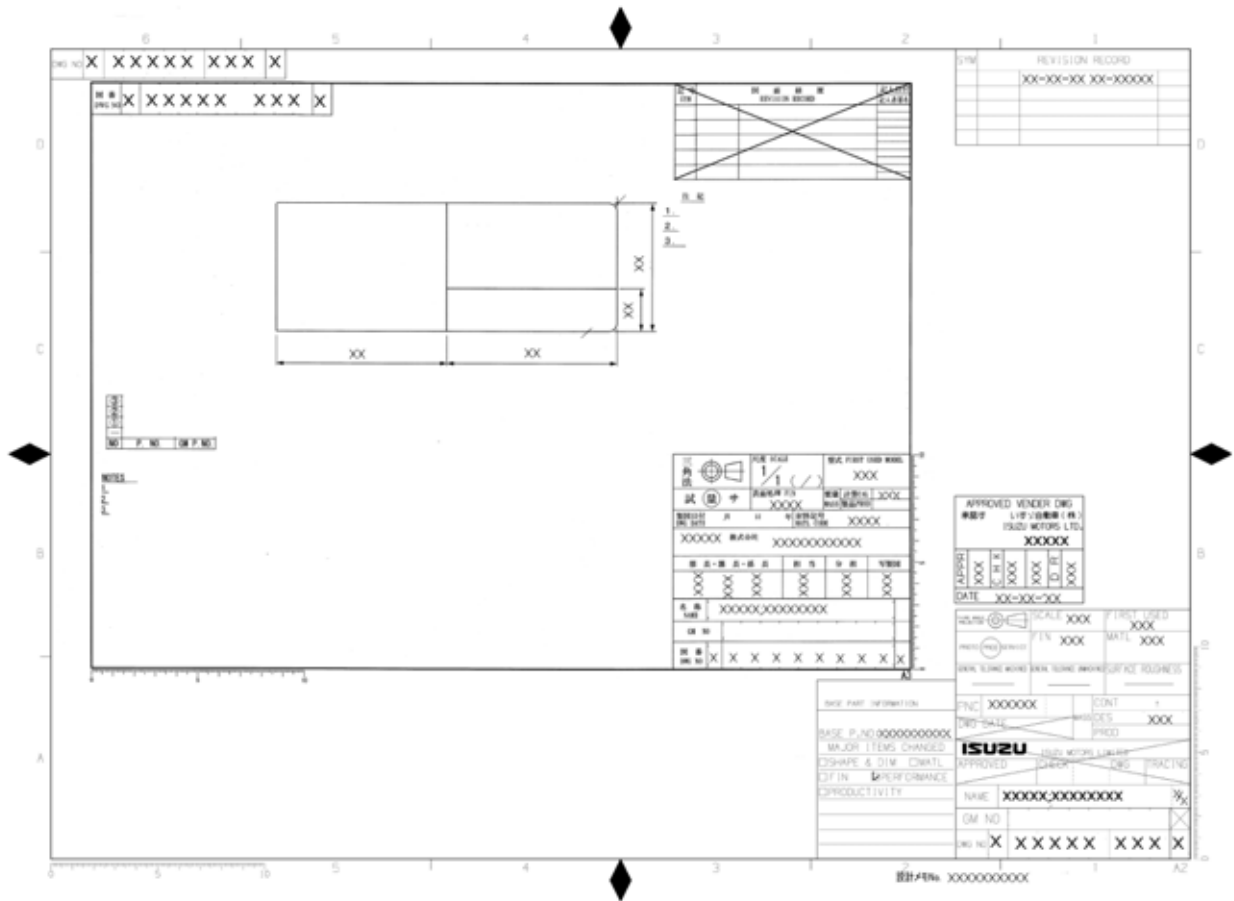


図8-3 承認図の例

5. 様式の記入事項の書き方

5.1 標題欄記入事項の書き方

① THIRD ANGLE PROJECTION		② SCALE		③ FIRST USED	
④ PROTO PROD SERVICE		⑤ FIN		⑥ MATL	
⑦ GENERAL TOLERANCE MACHINED		⑧ GENERAL TOLERANCE UNMACHINED		⑨ SURFACE ROUGHNESS	
PNC	⑩	MASS	⑪ CONT ±		
DWG DATE		⑫ DES kg			
		⑬ PROD			
⑮ ISUZU ISUZU MOTORS LIMITED					
⑯ APPROVED		⑰ CHECK		⑱ DWG TRACING	
NAME		⑳			
GM NO		㉑			
DWG NO		㉒			

図9 標題欄記入事項の書き方